

# 熊本県

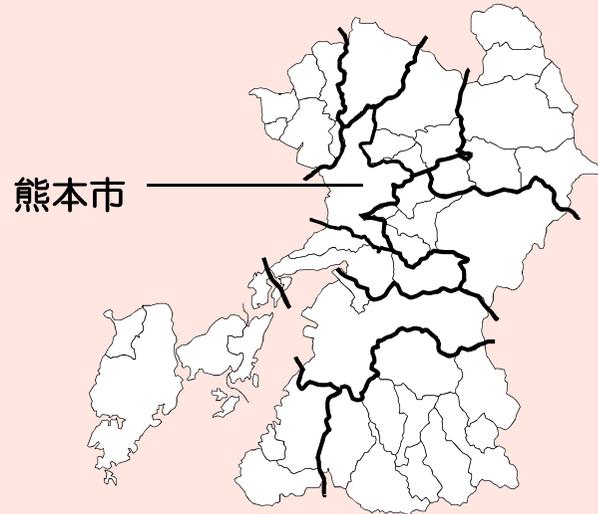
フットワーク・ネットワーク・チームワーク  
がまだす熊本！！

熊本県では、精神障がい者の地域移行推進のために・・・

- ・地域に足を運んで（フットワーク）
- ・顔の見える関係を作って（ネットワーク）
- ・力を合わせて（チームワーク）

当事者が地域で生活しやすい環境づくりを頑張ります！！

県の基礎情報



取組内容

【県の精神障害者の地域移行のこれまでの取り組み】

- 精神障がい者地域移行支援特別対策事業
- 地域移行支援アドバイザー配置事業
- 高齢入院者地域移行支援事業

【県の人材育成の取り組み】

- 精神障がい者地域移行支援研修会

【熊本市圏域のこれまでの取り組み】

- 精神障がい者地域移行支援特別対策事業
- 地域移行支援アドバイザー配置事業
- ピアサポート活用事業
- 精神障がい者地域移行支援部会

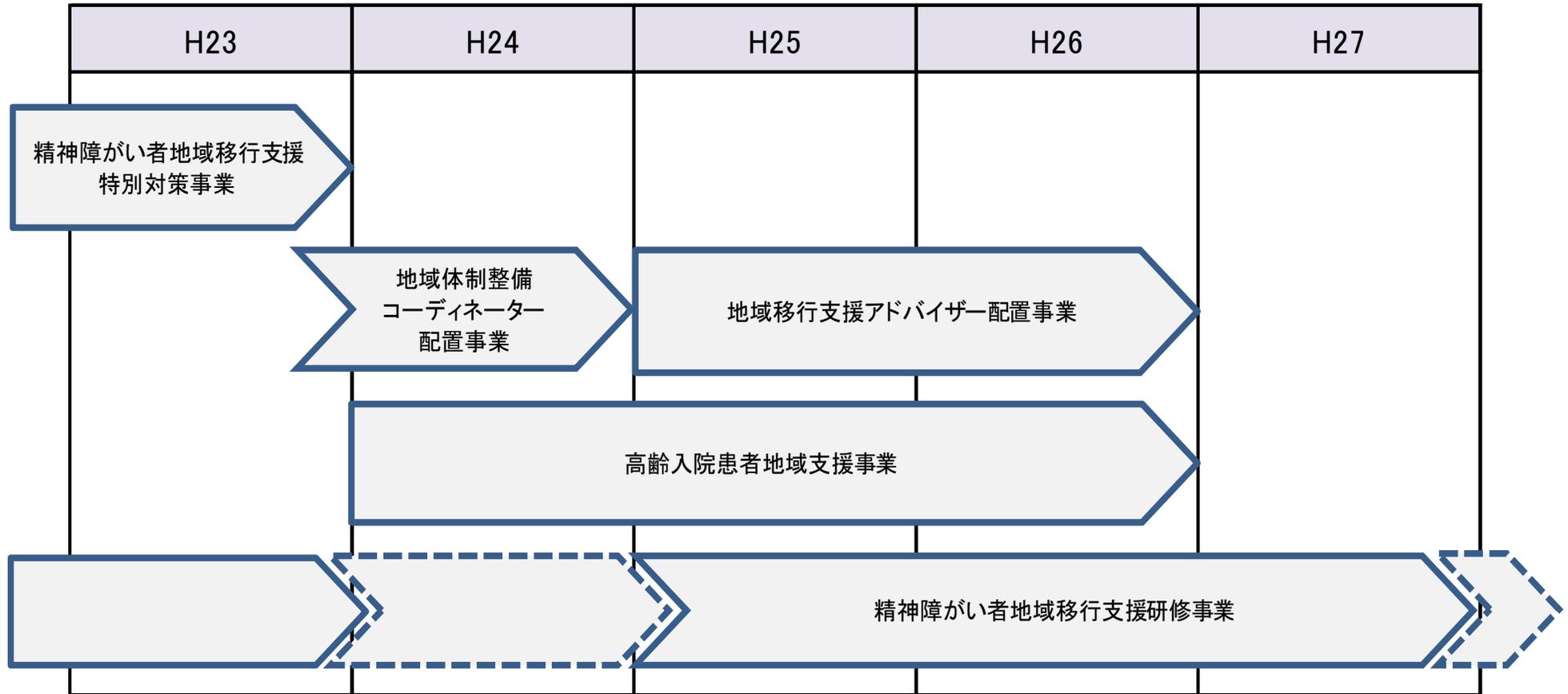
基本情報

圏域数	11カ所
人口	1,786,960人
精神科病院の数	46病院
精神科病床数	8,918床
入院精神障害者数 (※1)	3か月未満：1,440人（18.1%）
	3か月以上1年未満：1,243人（15.6%）
	1年以上：5,274人（66.3%）
退院率（※1）	入院後3か月時点：56%
	入院後1年時点：87%
相談支援事業所数	一般相談事業所数：56
	特定相談事業所数：134
障害福祉サービスの利用状況（※2）	地域移行支援サービス：12人
	地域定着支援サービス：76人
保健所	11カ所
（自立支援）協議会	本協議会 （活動頻度）：1回／年
	（人財育成について議論）：研修企画部会 （活動頻度）：6～8回／年
精神保健福祉審議会	不定期開催

【H27年4月1日時点】

（※1は630調査（H26）、※2はH26年度述べ数）

2-1 都道府県としての精神障害者の地域移行の取り組みの経緯

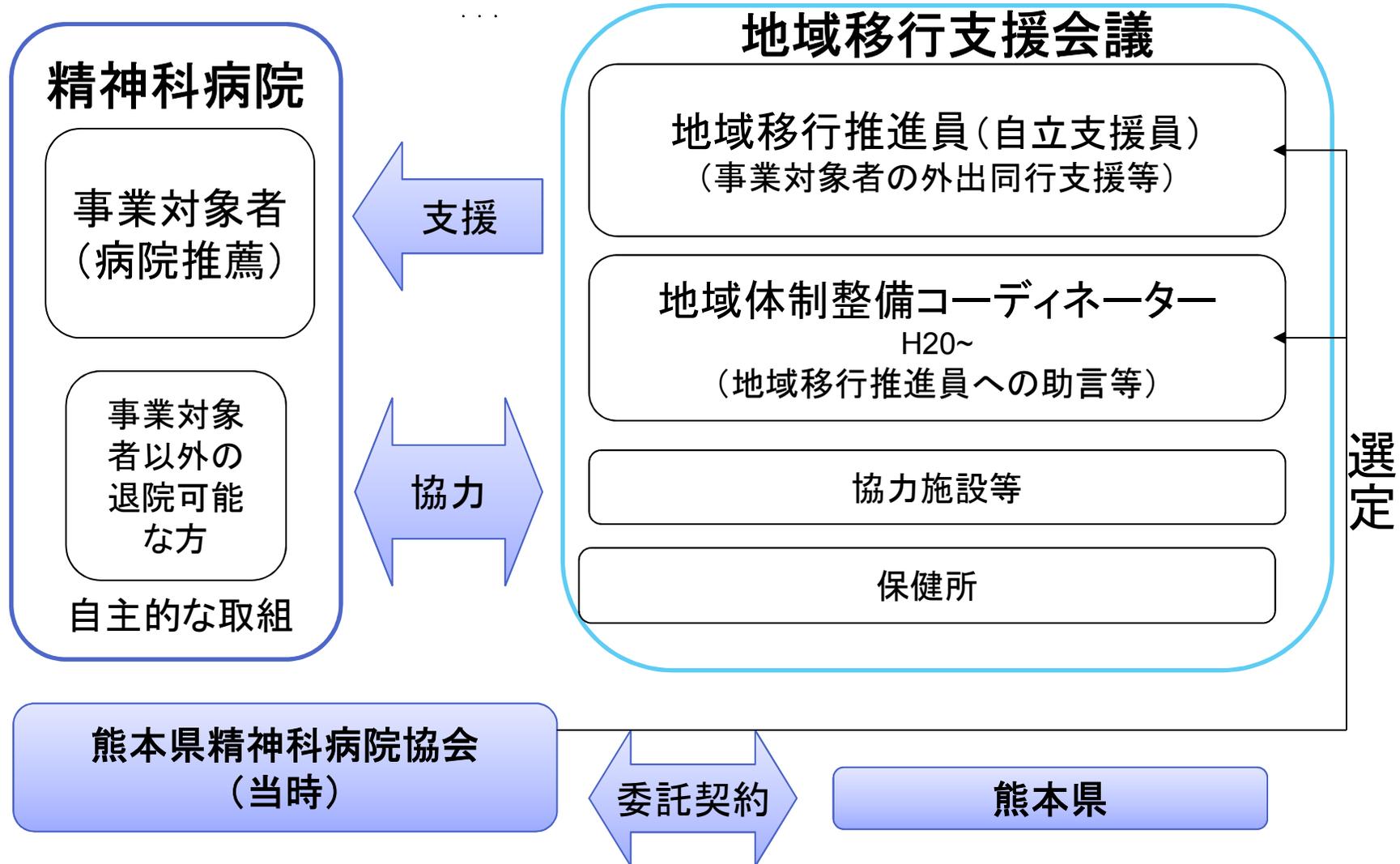


※ 実施主体:熊本県

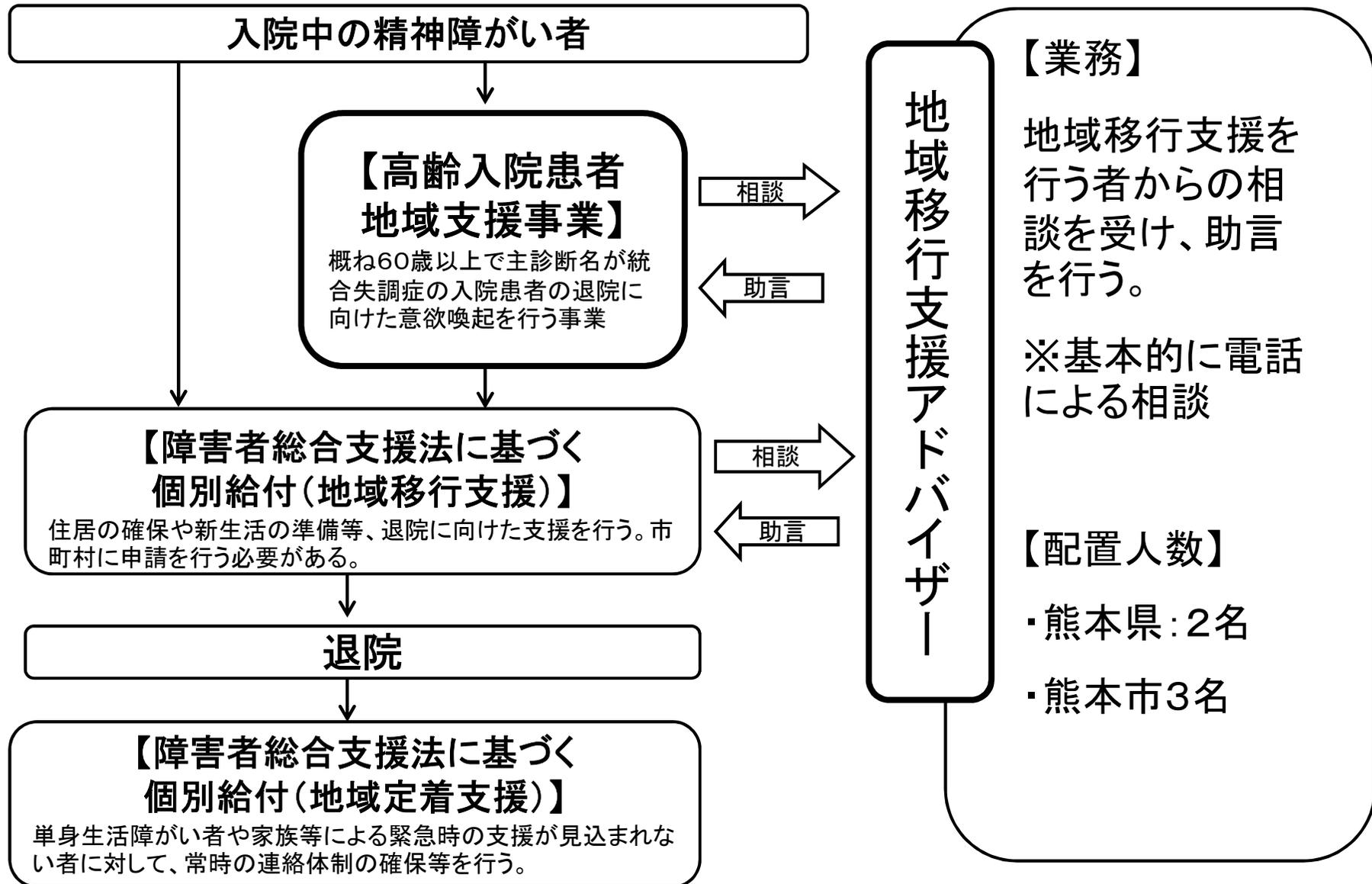
(熊本県精神科協会に委託して実施。(地域移行支援特別対策事業は、併せて熊本市にも委託。))

2-2 H19~H23の取り組み

★精神障害者地域移行支援特別対策事業



2-3 H24~H26の取り組み



3 都道府県としての精神障害者の地域移行推進のための人材育成の取り組みの経緯

～H23	H24	H25	H26	H27
<b>精神障がい者地域移行支援研修会</b>				
		<p>【内容】 講義(地域移行支援の現状等)</p> <p>【対象】 精神科病院、相談支援事業所、行政職員</p> <p>【参加者】 約100名</p>	<p>【内容】 講義(地域移行支援にかかる制度と施策)、実践報告、グループワーク</p> <p>【対象】 精神科病院、相談支援事業所、行政職員</p> <p>【参加者】 約130名</p>	<p>【内容】 講義(本県のこれまでの取組と現状)、実践報告、グループワーク ※ プレ研修としてファシリテーター養成研修会を実施。</p> <p>【対象】 精神科病院、相談支援事業所、行政職員</p> <p>【参加者】 約130名</p>

※ 実施主体:熊本県(熊本県精神科協会に委託して実施。)

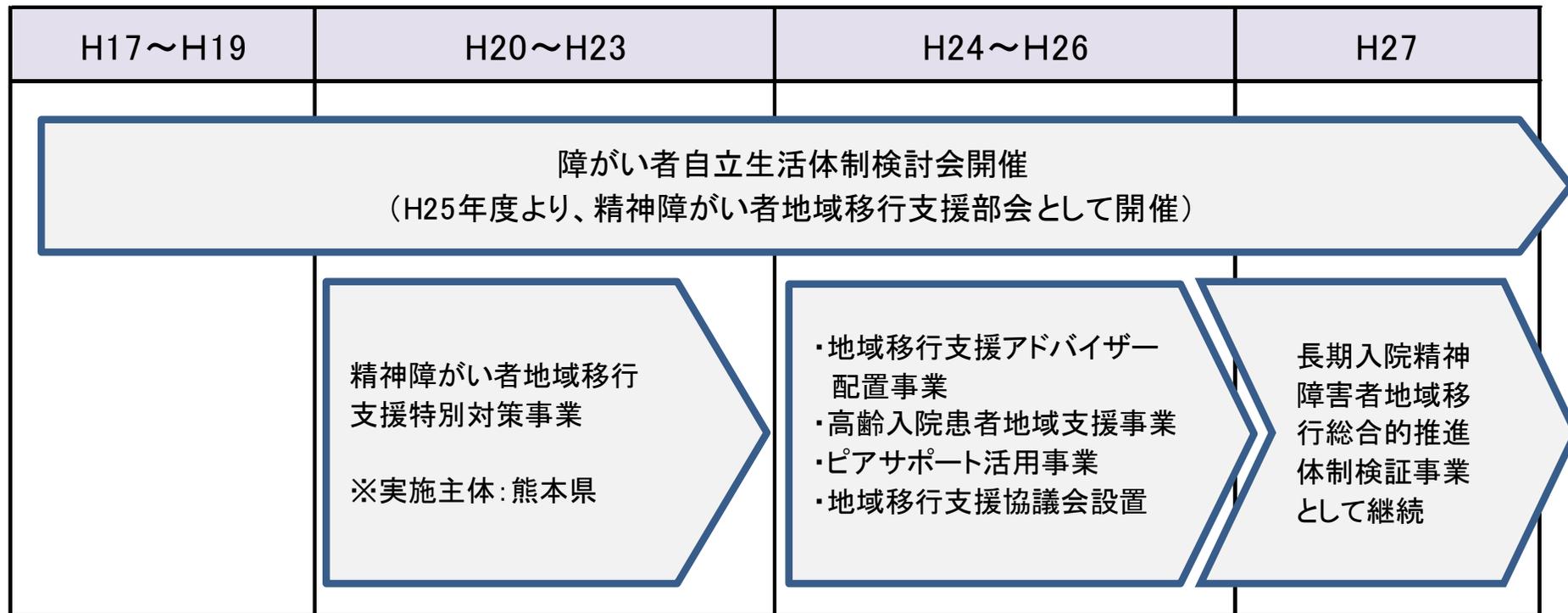
※ 研修会の企画にあたっては、県及び熊本市の地域移行支援アドバイザー(精神科病院や相談支援事業所のPSW)、精神科病院の看護師、精神科協会、熊本市、県で企画委員会を設置し、検討を行っている。

4-1 熊本市圏域の取組①

平成17年度から、精神障がい者の地域における生活を支援し、社会参加と自立を促進するために必要なサービスを総合的に提供していく体制を整備する目的で、「障がい者自立生活体制検討会」を開始。

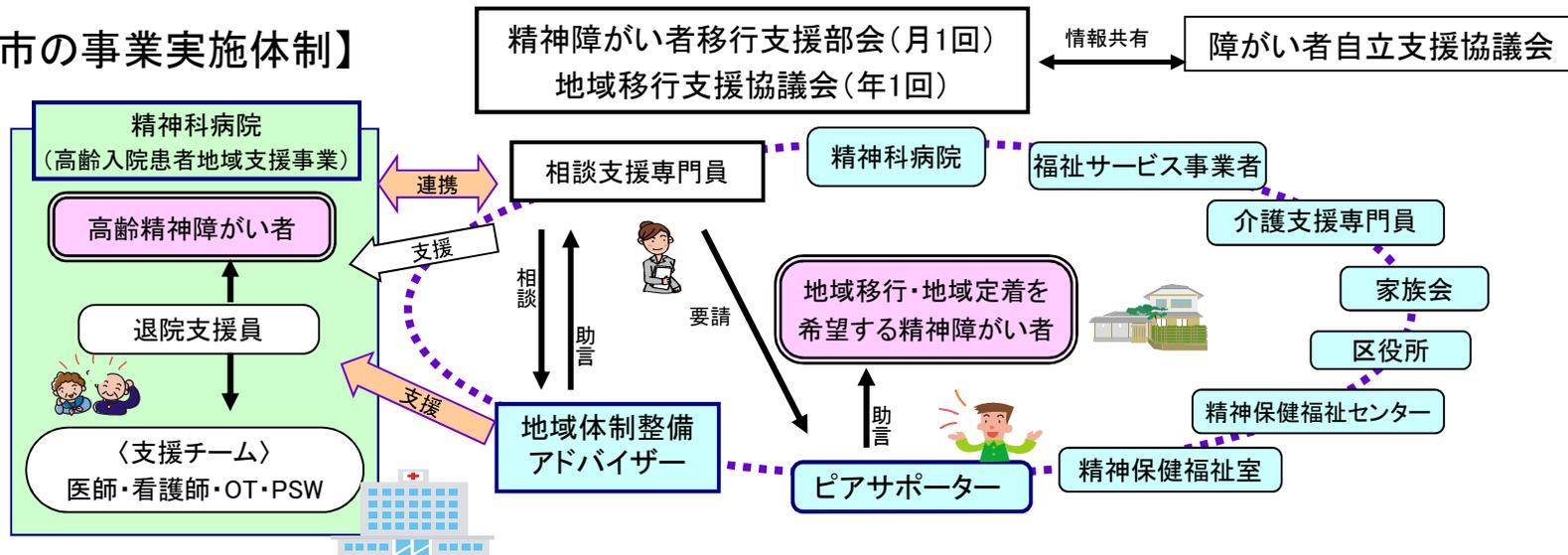
平成20年度以降も、補助事業と併せて継続実施。平成25年度からは、障がい者自立支援協議会の部会に位置付けている。

参加機関：精神科病院、委託相談支援事業所、地域活動支援センター I 型、関係団体、区役所、精神保健福祉センター、精神保健福祉室（保健所）



4-2 熊本市圏域の取組②

【熊本市の事業実施体制】

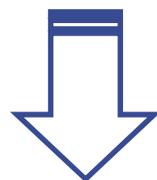


【精神障がい者地域移行支援部会の主な取組内容】

H17～H23	H24～H27
<ul style="list-style-type: none"> <li>・退院可能者ニーズ調査の実施 (H17年度)</li> <li>・ケアマネジメント事例検討会開催</li> <li>・社会資源ホームページ作成</li> <li>・普及啓発研修会の開催 (民生委員、ヘルパー、関係職員等対象)</li> <li>・居住支援に関する意見交換会の開催</li> <li>・WRAP研修会・WRAP集中クラスの開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域移行支援の事例集作成</li> <li>・普及啓発用情報誌の作成・配布 (地域相談支援のポスター・デイケア等情報誌、部会活動の広報誌等)</li> <li>・ピアサポーターとの意見交換</li> <li>・長期入院者への意向調査の実施 (H27年度)</li> <li>・普及啓発研修会・意見交換会の開催 (高齢介護関係職員等対象)</li> </ul>

## 5 長期目標（県）

- 各保健医療圏域において、「医療・福祉・行政の合同チーム」が、公的な集合体として位置付けられている環境を作る。
- 合同チームの推進力となるような、各圏域で核となる人材を育成する。



継続的かつ計画的に事業が推進できるような体制を整える。

## 6 次年度の目標（県）

### 地域移行推進のための人材育成について

- H27年度に実施した研修会のフォローアップ。
- 各圏域で核となる人材を引き続き育成。

### 市町村等支援について

- 行政職員（市町村職員、保健所職員）を対象とした勉強会の開催。

### 地域移行の推進について

- 県の自立支援協議会において地域移行支援について議論する場の設置を検討。

時期	項目	内容
(1月19日)	H27研修会反省会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講者アンケートの結果と研修内容の振り返り</li> <li>・H28研修会の実施方針検討</li> </ul>
(3月14日)	H27熊本県自立支援協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域移行支援研修会について協議会で報告。</li> </ul>
4月26日	H28第1回企画運営委員会 (第2回企画運営委員会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H28研修内容の具体的検討</li> </ul>
8～9月頃	プレ研修会 (第3回企画運営委員会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本研修会のグループワークのファシリテーター養成(地域の核として育成したい人材を選定。)</li> </ul>
11月上旬頃	平成28年度研修会 (第4回企画運営委員会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義、実践報告、グループワーク</li> </ul>
翌年3月頃	H28熊本県自立支援協議会	

※ 企画運営委員会のメンバーは、基本的に今年度と同じ。